

なみえの未来をともにつくります



議会だより

2006.5.1

No. 112

一般会計69億7千万円を可決



3月定例会

一般会計・特別会計・補正予算……P 2～10
一般質問 8人登壇……P11～19
国道114号拡幅事業要望……P20～21

なかよく みんな えがおで
ともに築こう 安心のまち



平成18年度の
予算総額は**132億円**

対前年比で**0.8%**の増 一般会計は**1.6%**の減
特別会計は**3.6%**の増

平成18年第1回浪江町議会定例会が3月7日から3月20日までの15日間の会期で開催され、一般質問には8人が登壇するなど活発な質疑が交わされました。

今議会に提案された議案は、18年度一般会計予算69億7千万円、国民健康保健事業など特別会計予算11件、併せて132億円余の予算が決まりました。

請願では、請願書2件(採択)が審議され、意見書1件を関係機関に提出しました。

さらに、国道114号拡幅促進特別委員会、地域共生型電源開発特別委員会の視察研修報告が委員長よりありました。

おもな 質疑

一般会計

生活

質問

家老集会所の管理については、北部衛生センターとの兼ね合いで管理委託料が支出されています。他の公民館や集会所はそれぞれ、その地域で運営していることを考慮すると、この予算が適切であるのか伺います。

総務課長

家老集会所は町の施設ということで管理委託料を支払っています。今後の施設管理は、地区への譲渡も含めて将来のあり方を検討していきます。

質問

合併50周年の記念すべき年に、なぜ町民号を実施しないのか。

町長

町民号は非常に有意義な事業と捉えています。町民号発足当時の目的をほぼ終えたという判断の中で、今後は一泊ぐらいの近くの旅行を通して町民同士のコミュニケーションを図ろうということです。ただ今年度は中国・興化市との交流事業を企画している関係で実施しないということです。

質問

地域づくり支援金の使用目的をきちんと確認しているか。

総務課長

各行政区長から申請を受けた計画に対して総額200万円の中で補助をするというものです。

質問

消防団員の定数は、団員

のほとんどがサラリーマンという状況にあり、消防団発足時のままです。団員が少なくてポンプ車を管理しきれない状況下であり、活動しやすい組織体制と適正な定数管理を考えるべきではないか。

住民生活課長

各分団とも団員数の確保が大変だという報告は受けています。定数を完全に充足されている状況にありませんので、今後の消防団のあり方について組織討議を行っているところでです。

質問

防犯灯新設工事の基準は。

建設課長

地元区長の要望や通学路等の優先順位を決めて設置しています。17年度は55基要望がありました。34基設置できました。

質問

毎年3億円を超えている下水道事業の見直しをする時期ではないか。合併浄化槽の検討は。

上下水道課長

予算の5000万円は処理場の建設の補助金として見積もっています。合併浄化槽も視野に入れて全体面積を見直ししていきます。

質問

浪江町では、広域市町村圏組合に6億1543万円の運営負担金があります。行財政改革の中で、浪江町ではこの歳出を今後どのようにに検討し、見直していくのか。

町長

消防費、斎場費、ゴミ処理等の生活に一番密着することを広域圏でやっています。住民の生命財産、あるいは環境を守る意味で、自ずと減らせない部分が多いが、各町村の管理者とも力を合わせて経費削減に努力していきます。

質問

浪江町の家庭で現在飼われている犬の実数は何頭か。又、狂犬病予防注射接種の実態把握はどうか。

住民生活課長

犬の登録数は平成18年12月末現在で、1661頭です。狂犬病予防注射接種率は、全国平均で70%位なので、その70%以上の達成率を目標に努力していきます。

産業振興

質問

農協の支店統廃合が計画されている中で、今後、農協経営健全化対策補助金を継続していくのか。

町長

この補助金は相手がある約束事です。助成の継続性という観点なので破棄したり、政策的に見直すと言うことは非常に難しいものです。

質問

農協支店で総代会議が行われ、出席総代全員が支店廃止に反対だと聞いています。農業振興、組合員の利便性を考え町として支店の存続を要望する考えはあるのか。

町長

この時期において農協自身の判断はかなり固まってきたているやに聞いています。地域の皆さんから強い要請があれば要望活動はやぶさかではありません。

質問

農地・水・環境保全向上対策事業はどのような事業なのか。この事業は来年度以降について樋渡・牛渡地域など農振地域以外は適用されるのか。

産業振興課長

水路等の草刈りや農道の補修等に地域住民と農家の方々が協力し合う事への支援。子供たちを含めた、水路に息づく生物等の観察やふれあいのための支援。土づくりや農薬の軽減、合鴨農法など営農活動の支援があります。それぞれ地域で

組織作りをしてもらい地域が一体となり活動を展開していくものです。

農振地域外地区へのことにつきましては議論が尽くされてなく明確な答えが出ていません。今後、国・県から指示が出てくるものと考えています。

質問

松くい虫駆除に年間631万7000円は現状を見ると焼け石に水状態ではないのか。

産業振興課長

以前は薬剤の空中散布もやっていたがその他の昆虫や生物が絶滅する恐れがあり、伐倒駆除の方法しかありません。

質問

漁業信用基金協会に1000万円の貸付金は毎年計上しているが、請戸の漁業振興と魚市場の活性化になつてくるのか。

産業振興課長

昨年は6件の貸付がありました。今後地域水産物掘り起こし事業等を展開していくつもりです。

教育・文化

質問

図書館の新刊図書を購入する基準や考え方は。

生涯学習課長

浪江町図書館資料収集基準があります。図書選定基準があり図書選定会議で決めます。その他、利用状況、利用者のリクエスト等に応じています。なお、図書館には図書館司書を配置しています。

質問

図書館の検索システム導入に300万円の内容は。

生涯学習課長

蔵書内容が電算化され、自宅のパソコンから町の図書館にオンラインで検索できるようになり、また、他町村や福島県の図書館にもリンクできるようにあります。

質問

辻の石蔵の耐震調査費に149万円とつてあるが、町で取得の意思があるのか。



改修の必要性が見込まれているいこいの村なみえ

町長

少ない費用でいかに効果を上げられるかを念頭に、今後鋭意調査をしていきたいと思います。

医療

質問

県立大野病院の産婦人科医の医療拡充の対策は。

町長

救急医療の点でも大変重要ですので、知事へ医師確保の要望を提出する予定です。

労働

質問

いこいの村なみえの工事請負費1100万円が計上されていますが、将来にわたり多くの改修費が見込まれます。改修計画はどのようなになっているのか。

産業振興課長

平成3年から実施してきた設備、什器、備品の改修・交換を計画的に進めて参りたいと思います。16年度末の繰越欠損金は1億1100万円ほどあります。将来

自治功労表彰

永年町村議会議員として、地方自治の振興発展に寄与された功績により、山本幸男議長が特別自治功労者(30年)、また、馬場績議員が自治功労者(15年)として全国町村議長会会長から表彰され、3月7日開かれた第1回定例会冒頭に伝達されました。

自治功労者



議員
馬場 績

特別自治功労者



議長
山本 幸男

掲額表彰

町議会より、24年の永きにわたり地方自治の高揚と町政の進展に貢献された功績により、藤田保正前議員に対し永年勤続功労者として表彰され、議事堂内に写真が掲額されました。

掲額表彰者



前議員
藤田 保正

質問

緊急雇用対策事業費の廃止の目的は。

産業振興課長

国の交付金が16年度で終了し、17年は町単独事業でしたが、18年度は状況を見守っていききたいと考えています。

質問

マリンパークなみえにトラクターの購入は必要なのか。

産業振興課長

借用したトラクターを使用していたので使用頻度により必要と考えています。

行政管理

質問

情報管理(主にパソコン)のセキュリティは。

企画調整課長

当町では平成15年5月か

質問

入札の最低価格の導入はどのように検討されているのか。

総務課長

公平性、透明性の確保の面で、予定価格の事前公表の形をとっています。

質問

パソコンのシステム委託

料と使用料の経費削減にどのような取り組みをしているのか。

企画調整課長

セキュリティの問題もあり、パソコンのシステムは3年から5年の間に見直しされる。システム導入のときにすべての課と協議をし、その性能、内容、金額等についても企画調整課が窓口で価格の引き下げに向けて努力をしています。

質問

今年も財政調整基金から2億5000万円を一般会

計に繰り入れている。この基金の出動は、お家の一大事にこそ使用すべきで、基金を安易に毎年取り崩すことはどうか。

総務課長

基金残高は、4億8266万円ですが、適正と言われる標準財政規模の約10%を若干下回ることになりました。国県からの交付税、補助金が減額されていく中で、現状の住民サービスを維持するために基金の運用はその補填策として充てています。

おもな 質疑

特別会計

平成18年度特別会計予算は、国民健康
保険事業など62億6千万円、対前年比
3・6%の増で決定

国保事業 特別会計予算

予算総額は20億6988
万円、対前年比4・3%の
増です。歳入の主なものは、
国保税7億8788万
円、国庫支出金7億148
3万円、療養給付等交付金
1億8793万円、一般会
計繰入金1億8004万円
です。

歳出については保険給付
費13億574万円、老人
保健拠出金4億2276万
円、介護納付金1億593
6万円、共同事業拠出金4
234万円です。

(賛成多数で可決)

国保直営診療施設 事業特別会計予算

予算総額は1億532万
円で対前年比5・2%の減
です。歳入の主なものは、
診療収入8358万円、繰
入金1149万円、繰越金
1000万円です。
歳出については総務費6
606万円、医業費386
9万円です。

(全会一致で可決)

質問

平成17年度補正で、診療
報酬収入の補正増が見込ま
れているが、診療報酬と患
者数の推移は。

診療所事務長

患者数は年々増えていま
す。昨年2月末の同期と比

較すると医科1万470
人・歯科1380人で46
0人程増えています。又、
昨年4～7月まで学校等か
らの要望もあり歯科診療時
間を1時間延長した影響も
あります。

文化スポーツ振興 育成事業予算

予算総額364万円で、
歳入の主なものは基金繰入
金300万円、歳出は助成
費350万円です。

(全会一致で可決)

質問

基金が年々減少し、将来
に向けてこの事業を継続さ
せるためにも寄附金等を原
資とすることでもある
ので、将来に向けて基金の
増額を考えているのか。

生涯学習課長

広く町内の方々にPRし

宅地造成事業予算

予算総額1020万円、
歳入は分譲地売払収入10
00万、歳出は繰出金です。

(全会一致で可決)

質問

固定資産評価替えに伴う
再評価も含め分譲価格・分
譲見込みの見解をお聞きし
たい。

総務課長

平成18年度の評価替えの
見直しは考えているが、税
務評価状況をみながら検討
します。又、造成区画数は
47で売却済みが28、予約が
1、残りは18です。

公共下水道事業 特別会計予算

予算総額は7億4171
万円、対前年比5・2%の
増です。歳入の主なもの

広報等で知らせておりま
す。御遺志金等を含め、各
会社・商店・個人の方々に
もこの趣旨を御理解戴き継
続していきます。

は、国・県支出金1億30
00万円、繰入金3億12
55万円、町債1億559
0万円です。
歳出は公共下水道事業費
4億1928万円、公債費
3億2043万円です。

(賛成多数で可決)

質問

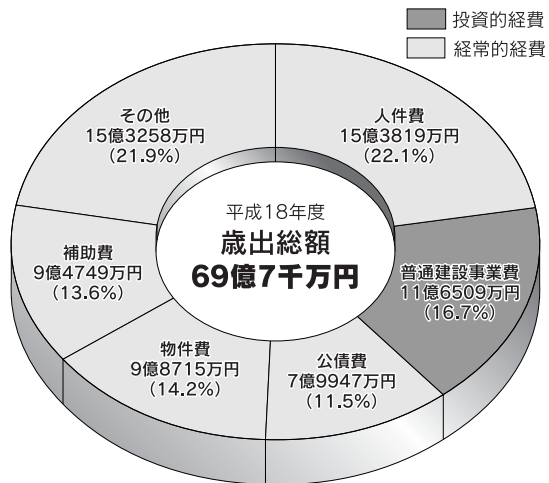
年間約3億円の下水道事
業費用で拡大しています
が、地域によっては合併槽
に計画を見直す時期にある
のではないかと。終末処理場
建設設計委託料と中継ポン
プ場設計委託料が計上され
ているが、今後どれだけ拡
大させるのか。

上下水道課長

合併浄化槽の場合は個人
で管理しなくてはならない
が、公共下水道ですと処理
場に専門の職員がいて水質
をチェックしています。
又、合併浄化槽ですと耐用
年数が30年前後であり、住
宅密集地では不可能であり
今後の水質問題も考えると
公共下水道は経費も掛かる
が継続していきたい。終末
処理場が大体満杯になる計
算の結果がでているため処
理槽を1槽追加し、その設

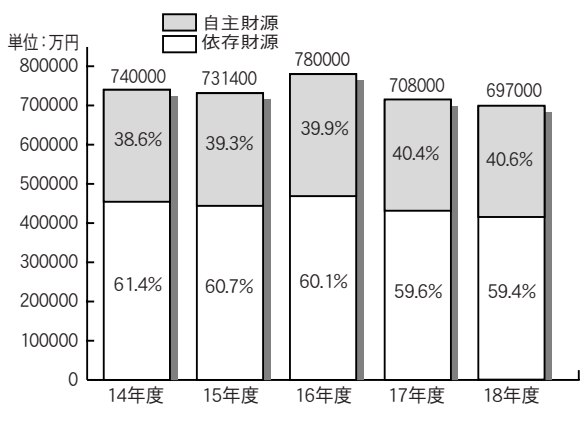
主な自主財源		主な国県依存財源	
町分担金及び負担金	税	地方譲与税	地方消費税交付金
使用料及び手数料	収入	地方交付税	国庫支出金
財産収入	収入	国県支出金	債
繰入金	収入	町	

一般会計性質別構成 (前年対比)



1人あたり納める税金 8万6007円
1人あたりに使われるお金 32万2282円

一般会計当初予算と自主・依存財源の推移



農業集落排水事業予算

予算総額4556万円で対前年比0.4%の減です。歳入は使用料等が853万円、歳出は公債費2339万円です。(全会一致で可決)

計料を計上し今後は人口の増減をみながら検討します。

集落排水の共同地区で未接続はどの位あるのか。

上下水道課長
既に94%くらいは接続されております。使用区域になれば下水道法により1から2年の間に接続しなければならぬという法律にはなっておりますが、強制するのはなかなか難しい状況にもあります。一応汲み取りの場合は3年以内に速やかに接続しなければなりません。各家庭の経済状況もありますので速やかにお願いしております。

水道事業会計予算

本年度は給水戸数で6360戸、年間総給水量216万4400m³と定め、主な事業は第4次拡張事業及び石綿管等の改修を含む配水設備改良事業の推進を図ります。
収益的収支では、収入で3億5899万円、支出で3億3582万円とし、資本的収支では、収入で6910万円、支出で2億4504万円の予算です。(全会一致で可決)

質問

未整備地区については計画的に段階的に進めるといふことですが計画どおり実行されるのか。

上下水道課長

加倉・室原地区は平成20年度を目標に努力しているところです。末ノ森地区は予算や高速道路関係の設計で多少の変更はあるものの計画どおり人口の推移をみながら進めます。

18年度特別会計可決予算

- 老人保健予算 (賛成多数で可決)
- 工業団地造成事業予算 (全会一致で可決)
- 介護保険事業予算 (賛成多数で可決)
- 財産区管理事業予算 (全会一致で可決)

おもな 質疑

条例制定・改正

条例の制定

第3子以降の出生見 祝い金20万円を支給

○浪江町出産祝い金支給条例の制定

少子化対策の一環として子育て家庭への経済的支援をするため条例を制定するものです。(全会一致で可決)

質問

最近の第3子以降の出生者数は、

健康福祉課長 15年度で31名、16年度で25名、17年12月末で27名です。

○浪江町国民保護対策本部及び緊急対処事態対策本部条例の制定

「武力攻撃事態等における国民の保護のための措置に関する法律」が施行され

たことに伴い、国民保護対策本部及び緊急対処事態対策本部の必要事項を定めるため制定するものです。(賛成多数で可決)

質問

協議会の委員の定数は、

○浪江町国民保護協議会条例の制定

「武力攻撃事態等における国民の保護のための措置に関する法律」が施行されたことに伴い、国民保護協議会の組織及び運営について必要な事項を定めるため制定するものです。(賛成多数で可決)



きめ細かな少子化対策が求められている

28人以内とあるが、町外からも委員を任命するのか。当該専門の事項に関する調査とは何を調査し、調査が終了し解任され、内容は議会、町民に公表するということを確認できるのか。

住民生活課長

協議会委員の任命ですが、町・県・国の職員、消防関係で町外もあります。専門員は、特に専門的な知識が必要だという場合は選任します。協議会の計画は、町長諮問を経て協議会

条例の改正

指定管理者制度を導入

○大堀相馬焼物産会館条例の一部改正

(全会一致で可決)

○マリナーパークなみえ設置条例の一部改正

マリナーパークなみえの管理について指定管理者を指定して行うため改正するものです。(全会一致で可決)

質問

指定管理者として柔軟に運営するためパークゴルフ場とバーベキューハウスの利用時間を条例からはずしては、

指定管理者にした場合、収支改善の見通しは、

理事会の構成が管理を委託する側と受ける側が一緒であるが、変える考えは、



指定管理者制度の移行が検討されているマリパークなみえ

産業振興課長

町長の承認を得て利用時間を変更できるとなっていますので、その中で今後検討していきます。

経営計画書の提出やそれに関する調査等、経営状況の改善が出来るよう見定めていきます。

町長

理事長は町長の当て職ですが5月頃退任の予定で、

副理事長の産業振興課長も併せて検討します。

町長15%・助役・

収入役・教育長5%

給料月額減額

○町長等の給与の特例に関する条例の一部改正

(賛成多数で可決)

職員給与を

4・8%引下げ

○職員の給与に関する条例の一部改正

福島県人事委員会勧告に準じて、給料表、昇格、昇給、諸手当等について改正するものです。

(賛成多数で可決)

質問

福島県人事委員会の勧告によって給与体系の引き下げをするということですが、4・8%引き下げを勧告したその根拠は何か。

総務課長

人事院勧告のあり方は全国平均の考え方で、都会では実態は高く、地方は低いという考えに立ち、地方は基本的な給料は低い額が適正であり、賃金を低く抑えて地域手当の形で都会との格差を是正する考え方があります。

**その他の
条例改正**

○特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正

(賛成多数で可決)

○浪江町しらうめ荘条例の一部改正

(全会一致で可決)

**浪江町道路線の
認定及び廃止**

道路改良事業等による認定(8路線)及び廃止(5路線)、並びに町道認定路線誤謬による修正及び用途を廃止するものです。

(全会一致で可決)

質問

新たに町道として認定になるということですが、これまでなぜ認定にならなかったか。廃止された道路の扱いはどうなっていくのでしょうか。

建設課長

過去の経緯が不十分のため、道路整備そのものの時期がかなり古いものと農免農道整備事業が整備されたあとそのままになっていたため、認定が遅れていたと思われる。廃止された道路の扱いは一部2級町道に引き継がれ、一部は町道払い下げとなります。

その他の議案

①専決処分の承認

福島県市町村総合事務組合を組織する市町村数の減少について

(全会一致で承認)

②専決処分

自然体験教室児童の送迎バスの交通事故による町有自動車の和解除について

(全会一致で承認)

③福島県市町村総合事務組合規約の変更について

(全会一致で可決)

おもな 質疑

補正予算

一般会計

質問

産地づくり支援事業補助金1200万円の予算が550万円減額となっているが、町の取り組みと考える。

産業振興課長

本年度の生産調整計画は確定してませんが、現状は伸びが見込めません。今後の農政改革に向けてPRしていきます。

質問

高瀬川溪谷周辺整備景観設計委託料は。

産業振興課長

設計監理料は、383万3千円です。

質問

中央公民館費の仲介人報酬費90万円の減額理由は。

生涯学習課長

結婚相談所の登録者は56人で、相談者は38人でし

た。イベント等も実施しましたが、まとまったのは2件でした。

質問

消防施設費の備品購入費157万5千円の減額理由と、そうならないための検討は。

住民生活課長

小型動力ポンプ導入の未同意と団員数減少により管理が出来ないとの理由ですので、今後消防団と協議し検討します。

質問

平成16年度発刊予定だった町史編さん費の307万2千円の減額理由は。

教育長

執筆者が先に受けた他市の民俗編の遅れによるもので、来年度こそは発刊いたします。

質問

緊急雇用対策費1000万円の予算で、今回113

万円の減額理由と成果は。

産業振興課長

役場の臨時職員として雇用したが、年齢による賃金の差額と委託料の減額ですが、60歳以下の雇用が確保されました。

質問

道路橋梁委託料で2250万3千円、公有財産購入費で4377万6千円の減額理由は。

建設課長

町道小熊田宮田線の藤橋地区の用地がまとまらなかつたため、現在交渉中です。

国保会計

質問

国庫補助金財政調整交付金の補正増2174万1千円と、県補助金の財政調整交付金の補正減1700万円の内容は。

健康福祉課長

国の財政調整交付金については、市町村間の財政力の不均衡の調整のための普通調整交付金で、一般被保険者の医療費と介護分として交付されます。

県の財政調整交付金については、医療給付分と介護分の5%として交付されます。

公共下水道会計

質問

受益者負担金が、659万1千円と2割以上も増えた理由は。

上下水道課長

5年間を一括納入したものが17件、猶予していた土地の解除によるものが27件で合計44件が増えた分です。

○国民健康保険直営診療施設事業特別会計
(全会一致で可決)

○老人保健特別会計
(全会一致で可決)

○農業集落排水事業特別会計
(全会一致で可決)

○介護保険事業特別会計
(賛成多数で可決)

○水道事業会計
(全会一致で可決)

採択された 請願

請願

○介護老人保健施設(浪江町幾世橋地区)整備計画促進の請願書
〔請願者〕

浪江町に介護老人保健施設をつくる会
会長 豊口雄幸

○税制改革に関する意見書提出の請願について
〔請願者〕

日本労働組合総連合会
福島県連合会双葉地区連合会
議長 渡邊明典

議員発議の 意見書

意見書

○税制改革に関する意見書
〔提出先〕 衆議院議長

参議院議長
内閣総理大臣
財務大臣
総務大臣

一般質問



町政と問答

8 議員が質問

■橋爪光雄 議員

- (1) 子育て支援について
- (2) 子どもの安全確保について
- (3) 障害者への対応について
- (4) 人命救助について

■佐々木 恵 寿 議員

- (1) 国道 114 号拡幅事業の進捗について
- (2) 介護老人保健施設の建設促進について

■田尻良作 議員

- (1) 農業政策について
- (2) 上下水道事業について
- (3) 健康長寿の町づくり事業について

■佐藤文子 議員

- (1) 分別ごみ収集の件について
- (2) 通学路の安全対策について

■紺野 榮 重 議員

- (1) 町村合併の件
- (2) 農協支店廃止の件
- (3) 介護老人保健施設の件

■小黒 敬 三 議員

- (1) 第 4 次浪江町長期総合計画の実施計画について

■渡邊 文 星 議員

- (1) 行財政について
- (2) 介護老人保健整備計画について

■馬場 績 議員

- (1) 小泉「改革」と町民生活の現状について
- (2) 医療・介護・老人福祉について
- (3) 農業・食料の新基本政策と町の対応について
- (4) 少子化・子育て支援について
- (5) 国道 114 号の改良と安全対策について
- (6) 町発注工事と入札制度改善について
- (7) 原発の安全と防災対策について

このページには、質問した議員の質問事項が掲載されています。議会だよりに掲載する一般質問の内容は、紙面の構成上、1 議員 3 件までの質問、答弁をそれぞれ 800 字以内に要約しておりますので、ご了承ください。



全力で取り組め、少子化対策

積極的な 子育て支援を

質問
国は児童手当拡充に平成11年から7年で4回取組ました。平成18年4月



未来を担う子どもたち（苅野幼稚園）

から支給対象年齢が拡大され、現在の小学3年終了前までから小学6年終了前まで広がります。当町の支給対象児童数はどのくらいになるのか。

健康福祉課長

支給対象児童数は、698名程度を見込んでいます。

質問

少子化時代に入り、児童生徒の減少により全国で学校が統合、教職員が削減され深刻な事態に直面している。当町の子育て支援計画を示せ。

町長

子育て支援策はいろいろな形があると思いますが、国、自治体が抱える最大の悩みであると思います。今回、少しでも出産しやすくなるような環境づくりのために、第3子以降の出産に關しまして、出産祝い金として

20万円の支給を考えています。

思いやりの 対応を

質問

聴覚障害者や難聴者が役場庁舎、ふれあいセンターなみえ等で安心して手続ができるために、各課に耳マークの表示板を設置する計画はあるのか。

総務課長

日常生活で苦勞されているところから考案された耳マークですので、今後、公共機関の各施設の窓口順次設置します。

質問

手話通訳、筆談など適切な対応ができるように、職員研修計画はあるのか。

総務課長

町主催の接遇研修や県の自治研修センターで職員研修をしています。障害者に対する専門的な研修はしていません。今後、検討します。

命を大切に

質問

緊急時に心室細動患者に電気ショックを与えて、心臓を正常に戻し一命を救うAED（自動体外式除細動器）を公共施設に設置計画はあるのか。

住民生活課長

津島診療所に設置しています。全国的に都心部を中心に普及しているので、検討します。

国道114号拡幅事業（権現堂地区）と介護老人保健施設（幾世橋長田地区）の進捗状況は

いつになる、第一工区の用地買収終了と工事着工

質問

用地買収が終了し、工事着工はいつになるのか。全体的な事業計画に進捗の遅れはないのか。

町長

平成18年度中に残された用地買収が終了する見込みです。工事着工も平成18年度中には始まると信じているところです。

質問

第二工区の拡幅事業は、常磐道の開通に併せて国道6号からのアクセス道として否応なく必要なものです。調査費の設定はいつになるのか。

町長

第二工区工事の進捗を見ながら調査に入りませぬ。過日、私も関係各位と

共に要望活動を行いました。大筋には、それほど遅れは生じていません。

質問

114号拡幅事業が中心市街地活性化対策への取り組みの関わりについて、どのような役割を担っているのか。

建設課長

県から、まちなかの活性化につながる道路づくりにしたいと伝えられています。町においても中心市街地活性化として取り組んでいます。情報発信の拠点となる集客施設を設置すべく検討をしています。

質問

佐屋前地区、順礼川原地区の河川敷を運動公園や大規模災害時に備えてのヘリポート、町民の憩いの場として等、何にでも利用できる広場に整備

する考えはないのか。

建設課長

県への要望事項の中では、緑地公園的な整備を求めています。114号拡幅事業を絡めた整備として、今後どのような活用方法があるのか検討していきたいとの回答があります。

介護老人保健施設の建設は、なぜ地元医師会の同意書が必要なのか

質問

県が建設計画に対し、地元医師会に対して同意書を求めた理由は何か。

健康福祉課長

老健施設において、必要となる医療の提供が困難な場合、協力病院への入院や通院を依頼することになります。このため、

地域の医療機関や医師等との密接な連携が重要であり、地元医師会との連携が必要なことからです。

質問

地元医師会の意向で介護老人保健施設建設の有無を決定づける制度にも問題があると感じる。今後町は何が出来るのか。

町長

県介護老人保健施設整備基本方針の改正は、地元の利害調整をするためのもではありません。町としては今後さらに県に対して的確な指導と働きかけをしていくよう要望を続けていきます。



早期着工が待たれている 114号拡幅事業



「ウォーキング」で、健康長寿の町づくりを

質問

医療費、介護費が家計や町の財政を圧迫しています。これからの高齢化社会に向かって介護予防

や体力づくりをどのように導いてゆくかが行政の責務と考えるので、だれにでも参加できる歩け歩け運動「ウォーキング大



歩け歩け健康づくり運動

会」等の取り組みを浪江町の「健康長寿の町づくり事業」とする考えは。

町長

健康長寿の町づくりに「ウォーキング」を取り入れることは私も大賛成です。今年は合併50周年の節目の年ですので、冠事業として、秋のふれあいハイキングも規模拡大して行います。また、このような事業に町民の参加を促し、継続してゆく事が町民の健康な体力づくりになり、結果として医療費等の削減が計れると考えています。

健康福祉課長

「ウォーキング」の効用は皆さん良く理解し、個人個人が実践されています。質問の「ウォーキングコース」の整備を図りながらの町づくり、観光づくり、健康づくりについては、関係課と協議をしております。

米の生産調整について

質問

町の産地づくり対策及び集荷円滑化対策事業の、地域内調整に未加入の農家数は。

産業振興課長

平成17年度実績では、未加入農家数は150戸、水稲全部作付けすれば水田面積は48ヘクタール、生産数量で245トンになります。

上下水道整備について

質問

末森、田尻地区内の町水道整備事業で当初の計画路線が変更になっていますが、変更理由の十分な説明を地元住民に行い、住民の理解を得ているのか。

上下水道課長

敷設変更の未給水地区は現在、高速道路の予定地になっており、高速道路の工事と併せて整備をする必要があると考え、地元住民に対してその説明をし、ご理解を得たいと考えています。

質問

田尻みどりヶ丘地区の公共下水道整備について、今後の整備計画はあるのか、あるとすればそれはいつ頃完成の予定か。

町長

この地域の下水道整備は、現在浪江町都市下水道計画の変更が必要であり、そのための手続を進めています。みどりヶ丘地区は、この計画に入る予定であり、完成目標年度は、平成22年度の予定です。

環境・美観を損ねている、 ごみ分別の実態

分別ごみ収集 の取組みは

質問

リサイクル法が施行され、双葉郡広域圏でも4種12種類、6色のごみ袋にして1年が過ぎようとしています。ですが、いまだに町内各地でごみの分別が理解されていないため、地域でのトラブルが絶えず、また気をつけて歩いているとゴミステーションのまわりに違法に出されたごみが散らかっている状況が目につきます。今までの対策は。

住民生活課長

講習会やチラシ等を配布して、周知徹底を図っているのですが、約1割程度の規則を守らない人がいると思われま

質問

新しく町内に引越してきた家族がどこにごみ

を出してよいか解らないため、地域でトラブルになっているところがあると聞いています。

住民生活課長

転入者に対するごみの指導は役場窓口でごみを出し方のマニュアル等やカレンダーによる収集日の説明をして、地域の行政区長を紹介し、行政区の加入と合わせて推進しています。

質問

宅地を開発する業者は初めからゴミステーションを設置し、新築する家族の不安やトラブルを解消すべき義務があると考え、宅地開発業者の指導は。

住民生活課長

指導はしていますが、行き届かない点があるかと思えます。業者等にステーションの設置を要請し、今後とも強化していきます。

子どもの通学 路の安全対策 は

質問

天栄村で幼児がため池に入り、誤って死亡した事故がありました。浪江町内にも大小37箇所もため池があり、その中でも通学路に近く危険と思われるところがあるところがある所があります。安全対策は。

教育長

いままでは、校舎内外の不審者対策に力が掛かっていたように思いますが、危険箇所を調査して保護者と連絡を取り合いながら共通認識を図っていきます。また小学校低学年の児童から中学生まで年齢に相応した危険回避能力を身につけるための教育指導が大事と考えています。

建設課長

通学路の近くにあるため池は豪雨時の満水を調節するための余水吐きになっている箇所です。ガードレールやフェンスを設置することが出来

ないため、教育委員会を通して啓蒙していただきます。橋の高欄やフェンスの高さ等は、危険箇所の現場を見て検討して行きたいと思



マナー違反のごみステーション



|| 紺野 榮重 議員 ||

町政と問

一般質問

早期の介護老人保健施設建設を望む

質問

建設許可の遅れている理由と経過は。

健康福祉課長

双葉郡医師会からの同意書が提出されていないためです。

質問

町は、どのような働きかけをしているのか。

健康福祉課長

福島県知事宛の要望書を相双保健事務所に提出しました。

質問

県の求めている同意と医師会の考えている同意に行き違いがあるのではないのか。

健康福祉課長

行き違いがあったかどうかは町としてはわかりません。

質問

介護老人保健施設の建設署名、町長はどのように受け止められているのか。

町長

一万人以上の署名は大変重く受け止めており、議会と力を合わせて実現に全力をあげて参りたいと考えます。

質問

介護老人保健施設の建設により、保険料が高くなるのか。

健康福祉課長

平成18年度から20年度における保険料は介護保険上、事業計画に定める事業運営期間である3か年における給付見込みをもとに設定することとなります。

質問

今回の署名の中で行政区長会での署名が批判あるようですが、違法なものがあるのか。

総務課長

行政区長設置条例の中で、署名活動の禁止等は定めておりません。また、地方公務員法において

は、政治的行為の制限を規定しているが、特別職に属する地方公務員には、適用しません。

町村合併の見通しは

町長

質問

町長

町長就任して3年目に入り周りの町村の状況が変わった、その中で合併についての基本的考えは。

質問

効率的な行政運営の必要性から合併は必要であります。合併の範囲はアンケート調査によっても北双葉程度を確認しているが、合併についての進展はございません。

質問

合併しないと町としてやっていけないのか。

町長

合併しなくても町はある程度健全に機能し、運営をしていくことは十分

可能と基本的に考えます。

農協支店統廃合は

質問

農協支店廃止に関して、町の対応は。

町長

各町村農協1支店へと見直すという方向は、津島地区の場合、存続を願ったところ現状維持の方向が示されているのではないかと情報です。



平成の合併により県内の市町村総数は 61 へ

第4次長期総合計画の実施計画は

土地利用計画

質問

歩いて暮らせる町づくりに基づいた都市計画マスタープランの見直しは。

建設課長

人口フレームなど改訂しており、必要です。

観光交流人口

質問

1、既存の観光資源整備

の具体策は。2、観光協会などソフト面の受け皿づくりは。

産業振興課長

1、高瀬川渓谷周辺整備を予定し、国道へ案内板を設置します。2、地域の宝振興事業の調査報告を受け、観光ルートのモデルプランや各団体と連携を計ります。観光案内の窓口一本化は、ホームページを立ち上げ情報発信します。

指定管理者制度

質問

1、指定取り消し、業務停止命令を議会に諮る条項追加は。2、業務、経理を議会へ報告する条項追加は。3、町長、議員の兼業禁止規定の条項追加は。4、PFIでレストランを作り、管理をNPOなどにする考えは。5、制度を利用した町づくり団体育成の考えは。

総務課長

1、2、条例規定でなく、議会へ報告します。3、条項規定を検討します。

町長

4、ないことはございません。5、そのように認識しており、研究を続けてまいります。

スポーツに親しむ環境

質問

1、健康増進施設を利用の良い中心部へもつてくる計画は。2、小中学生をスポーツ大会、特に長距離競技の参加を学校へ働きかけては。

健康福祉課長

サンシャインなみえ、ふれあいセンターについて地域介護福祉空間整備等交付金を活用し改修する考えです。

教育長

今年はいくさんの参加者が出るよう呼びかけます。

少子化対策

質問

子育て支援を行っている企業が町が認定し、働く女性の見方として町民にアピールしては。

産業振興課長

中身を研究し、検討します。

安全に暮らせる町づくり

質問

こども110番の車の推進を計れ。

教育総務課長

今後検討します。

雇用機会の創出

質問

福祉施設や国県の施設など新たな分野の誘致活動を計れ。

企画調整課長

介護の施設はまだ必要です。また、国、県、半公共的な施設も積極的に取り入れられます。



長期総合計画 あらたなスタート



渡邊 文星 議員

町政と問う

一般質問

回覧による署名活動に行政が関与して良いのか

町は、町民に争いを起さないように法に従って、町政を運営する義務があります。

質問

今回の老人介護保健施設整備計画のための回覧による署名活動に、中立・公正であるべき町行政が区長会の事務担当でありながらそれを認めた経緯は。

総務課長

行政区長会の理事会で決定し、実施したものです。

質問

回覧文面にある「医師会が同意しない」という確認は、どのようにして行われたのか。

総務課長

区長会長に間違いがないか、それと健康福祉課長に確認をしました。

質問

回覧による署名活動は誰の責任、権限で行われたのか。

たのか。

総務課長

行政区長会で決定し行われました。

質問

回覧による署名活動は、個人情報保護法に抵触はしないか。

総務課長

署名活動の方法としては、好ましいとは思いません。

質問

各区長への回覧文書と通達文書は、誰が作成したのか。町は関与していないのか。

総務課長

行政区長会の指示により、事務局が作成しました。

質問

回覧による署名活動は、双葉郡医師会に対して圧力とならなかったか。更に、区長会の事務担当が町であり、少なくとも町が関与したと取

れないか。

総務課長

署名活動そのものには、行政は一切関わっておりません。

質問

医療法人の行う民民の事業に行政区長会が介入してよいのか。

総務課長

民民の問題に介入したのではなく建設促進を要望する活動を行ったと思えます。

質問

今後、このような回覧による署名活動は、すべて認めるのか。

総務課長

回覧による署名活動は、好ましい方法ではありません。

質問

回覧による署名活動に、問題がなかったのか町長の見解を。

町長

医師会に対しては、お

願い文書を差し上げたところ承っており、浪江の町民の皆様方には、この問題について大きな力を与えて頂いたと認識しております。

ます。署名をする段階で回覧による手法によった事は、遺憾であったと申し上げざるを得ません。



回覧による署名活動について
行政の対応に問題はなかったか！

原発の配管ひび割れ運転・地震・津波 対策は

東電第一原発6号機の給水流量計データ改ざんが内部告発で発覚した。事故隠しの体質は変わっていない。原発の安全上、何よりも重要な問題であることを指摘する。

質問

第二原発3号機の再循環系配管に、定検でも、超音波検査でも全周のひ

び割れを見逃していた。なぜ発見できなかったのか。

住民生活課長

取り替えた配管を切り出して再検査したところ亀裂が発見された、という事です。

質問

浪江町長を含む双葉地方電源地域政策協議会

は、この程、配管ひび割れ運転を認める「維持基準」の導入を了承した。了承を撤回し、原因究明と今後の安全対策こそ第一義ではないのか。

住民生活課長

国の原子力安全・保安院は、亀裂がないと判断した経緯と根拠について報告を求めるとい

とです。

質問

中央防災会議専門委員会は、明治三陸地震タイプでは、発生から30分で最大22メートルの津波被害想定を発表した。東電が予測する最高潮位(3.4m)、最低潮位(△1.9m)で原発の安全は守られるのか。

住民生活課長

東電第一原発では、最高津波5.7m、引き潮3.6mを予測し、評価した結果、安全性が保たれるとしております。

質問

中央防災会議は、浪江町を含む5道県130市町村を防災地域に指定した。国、県、町のハード・ソフト面の整備は。

住民生活課長

浜通り10市町村が対策推進地域に追加指定され

ました。①港湾の耐震化、避難道路等の整備
②県は浸水予測図作成の予算を新年度に計上
③町は、県の予測図に基づき、ハザードマップを作成し、災害対策を推進します。

国道114号の改良促進を

質問

国道114号の危険箇所改良促進とトンネル内ラジオ受信工事は。

建設課長

平成17年は柵平も含め、5ヶ所を整備。引き続き平成20年まで5ヶ所の工事を予定。トンネル内ラジオ難聴については、早急に改善を求めています。



改良施工が決まった小倉沢橋 (津島地区)

国道114号早期着工を目指して

県に対して拡幅事業の要望活動

浪江町議会と国道114号拡幅整備促進期成同盟会（会長・横山藏人浪江町長）は、平成18年2月13日、国道114号拡幅事業に係る要望活動を行いました。要望先は福島県土木部・福島県相双建設事務所へ合同で行ったものです。国道114号浪江拡幅の推進、拡幅事業に係るまちづくりの支援などについて要望しました。

これに対し蛭田公雄県土木部長は「県の当初予算が発表されたが大変厳しいものだ。少ない歳出の中で土木行政をやっていく。」「第一工区の用地はほぼ完了し、18年度に一部着工となる。」「河川整備については具体的なものはない。拡幅事業の中で考えさせていただきたい。」「6号国道アクセスだけでなく浪江町のシンボルとなる道路だ。産業振興、商店街の振興に寄与するものにならなければならない。」「要望は十分承知をしている。」などと答えました。



要望書

国道 114 号浪江拡幅事業の推進並びに まちづくりの支援について

要望の要旨

- (1) 国道 114 号浪江拡幅事業の推進について
 - 第一工区の道路本体工事の推進
 - 第二工区の調査事業の着手
- (2) 拡幅事業に係るまちづくりの支援について
 - 景観設計と関連工事（街路灯ほか）の整備
 - 第一工区の道路設計は、18年度決定の予定と聞きますが、地域の意向が反映され町のシンボルロードにふさわしい道路景観になるものと期待しています。そのような中、車道と歩道を照らす街路灯の設置をお願いしたい。・まちかど広場に噴水やベンチ、オブジェなどの設置をお願いしたい。
 - 拡幅事業と一体化となる多目的広場（河川敷）の整備
 - 1 花卉、花木類の育苗圃（R 114 号花壇植栽ほか）
 - 道路植樹帯や街中、駅前等に植栽する花卉、花木類の育苗圃を整備したい。
 - 2 イベント広場、駐車場の整備
 - 道路空間や沿線で開催されるイベントの祭の駐車場などを整備したい
 - 3 防災（災害活用）グリーンひろばの整備
 - 地震や大火災等災害の一時避難所や補給基地（ヘリポート等）を整備したい。
 - 4 フラワー広場（菜の花・ポピー園）の整備
 - 河川敷を緑地やフラワー公園とし、町民の癒しや憩いの空間に整備したい。

京都福島市と浜通りの中心地浪江町を結ぶ国道 11



浪江町議会議長 山本幸男

4号線は、常磐自動車道浪江インターの開通に伴い、室原地内から整備を始め、国玉神社付近から国道6号線までの間30メートル拡幅工事が第一工区、第3工

区に分けて進められています。今後は、第一工区の用地は完成間近にし年度内に工事の着工となる見通しであります。議会の改選毎に国道114号拡幅促進特別委員会を設置し、国・県に要望活動を行うてまいりました。今後も商工会をはじめ町民の多くの代表と一緒に、早期開通を目指して取り組んでまいりますので、皆様のご協力をお願い申し上げます。

浪江町のシンボルロード

114号浪江拡幅整備事業の

促進を願って

【要望活動参加者】

浪江町長 横山藏人、浪江町議会議長 山本幸男、浪江町議会国道114号拡幅促進特別委員長 佐々木英夫、同委員長 田尻良作、浪江町商工会長 松崎俊憲、まちづくり委員会委員長 新谷保基、(株)東遊記部会長 田中美昭、(株)東遊記事務局長 齋藤清弘

【要望先】

福島県土木部・福島県相双建設事務所

参加者の声



(株)東遊記事務局長
齋藤清弘



(株)東遊記部会長
田中美昭

毎年公共事業費が削減される中で、どのように予算の配分をしたらよいか思案しかねている様子が伺えました。こういう時期だからこそ、行政と共に地域住民がアクションを起こして、予算獲得を行うべきだと思います。

県土木部への陳情に行き、国道114号線拡幅の予算が、潤沢でなく大変厳しい状況にあることを感じました。今後も要望活動を活発に展開してゆく必要を感じました。

行政視察 レポート



歴史を生かした街並み修景整備を成功させた小布施町

住民と行政が取り組んだ 町並み景観

● 国道114号拡幅促進特別委員会委員長

佐々木 英 夫

長野県小布施町は北齋館、高井鴻山記念館を中心に、住民と行政が一体となって取り組んだ歴史と文化を生かしたまちづくりは、全国的に注目を集め、年間130万を超える人が訪れています。

まちづくり概要

町並み修景を行った條然楼周辺が、小布施町の発祥の地であり、葛飾北齋の

肉筆画を展示した北齋館をはじめとする美術館群と、老舗の栗菓子店や大壁の民家など特徴ある歴史的な景観をとどめ、小布施町文化の雰囲気をも数多く残す地域であります。

町並み景観事業は、昭和56年3月に作成したまちづくり基本構想が基になり、北齋館周辺を歴史的文化的ゾーンと位置づけ地域の特性を生かしたまちづくりと

しています。

また昭和59年には面的整備を図るため、関係者により5者協定を結び、條然楼周辺町並み修景事業組合を設立し住民と町が責任を分担し合って進めてきたことでもあります。

浪江町の114号拡幅との違いは、面積にして約16,000㎡、金融機関、公共展示館、栗菓子店舗、民家住宅とがお互い責任を分担しあったこと、事業費を6億円かけたことと協力基準(町条例)を設けたことにあると思います。条例化するにより勝手な設計や建物統一化が図られ町並み整備が実施されました。

112号
表紙より

春うららかな4月6日、浪江町内の各小学校で入学式が行われました。町内各小学校で187名が新一年生となり、真新しいランドセル姿で保護者に付き添われ、元気に登校しました。入学式を終えた後、新しい教科書や交通安全帽子等が配られ、未来へのスタートを始めました。

私の意見を聞いて



かくあるべし、我が人生

小野田 哲夫 (小野田)

小生、季節労働者です。「万年青」「猫柳」格花として生けました「ため」のきく「柳」人生においても、余裕と謙虚さが常々必要です。

ア…… そうそう裏山にジジババの花が美しく咲いています。春を告げる可憐な花、しかしリンとして高貴な春蘭と言ったほうが皆様にはおわかりかと思えます。

「愉快に働く」「感謝で眠る」……かくありたい……
…小野田龍風

豊かな「水資源」の再生と保全を

阿久津 裕 司 (権現堂)



私は魚釣りが趣味で全国各地の河川等に出かけます。じっと川面を見つめているとき、ふるさと浪江の自然環境の保護について思うときがあります。

浪江町は山から川、平野部、海まで水をめぐる豊かな環境があります。私たちは地域、住民、行政が一体となって素晴らしい河川、海岸環境の保全、美化に努めなければなりません。

行政は、この豊かな「水資源」の再生と保全をテーマにして町づくりの取組みを総合的に進めてみてはいかがでしょうか？

災害のない町づくりを願う

長瀬 妙子 (権現堂)



私は朝夕、犬を連れて請戸川堤防の土手を散歩するのが楽しみのひとつです。今、河川敷には、竹や雑木が生い茂り、台風が来たときなど、大雨・洪水で溢れてしまったら、流木などで川がせき止められ氾濫するのではと思うときがあります。

昔、水害避難を経験しただけに、浪江町としても他町村のように、河川敷を整備して、あのようなことがないように日々願っています。

黄色タスキを広めよう

佐々木 健子 (幾世橋)



4月に入り、新入生が元気よく通学を始めました。私達も可愛い孫たちのために見守り隊として、黄色タスキを掛けています。

しかし、子供見守り隊の組織だけでできる事ではなく、地域社会全体が見守り隊として、自発的に子供達の帰宅時間に合せ、犬の散歩、ウォーキングされる方々等数多くのご協力を得ながら、皆で力を合せ、子供達の幸せと、安全な町づくりが出来ればと願っています。

大人はごみをすてないで

浪江 ちひろ (11歳・川添)



私は森林ボランティアで浪江から葛尾の山のごみ拾いにいった。

あんまりごみが多すぎて1度に拾えなかった。ごみの種類には、どうやっても子供には捨てられないものが沢山あった。大人は見本にならなければいけないのどうして捨てるんだろうと思った。一人が捨てるとみんなが捨てていく。掃除してもまた誰かが捨てる。みんなでごみを拾い町をきれいにして森や林を汚さないよう努力したい。

日本を取り巻くエネルギー事情

地域共生型電源開発特別委員会委員長

三 瓶 宝 次

浪江町においては、昭和42年に浪江・小高原子力発電所の誘致を決議し、以来40年にわたり建設が実現されておられません。

いま、東北電力をはじめ町当局においては一部地権者のご理解を得るべく、鋭意努力を重ねている現状でありますので、来るべき状況に備えて立地地域及び電

力事情や電力製造の過程をしつかり認識する必要があります。

今回の研修は、東北電力東新潟発電所及び隣接する日本海LNG、東京電力柏崎・刈羽原子力発電所の見学と事業内容の説明を受け、最先端の技術力を駆使した電力製造工程や地域環境に配慮した事業に対し

て、今後の町のあり方や将来について広く感銘を得ることができました。

柏崎・刈羽原子力発電所では、発電所より排出する温排水の有効利用が周辺の漁業権との兼ね合いで図られていない状況について、モットイナイとの印象を受けました。大熊町では、種苗・栽培漁業が行われており、当町でも漁業が盛んでありますのでホシガレイやヒラメなどの栽培漁業に夢をはせ、今後の町づくりに活かして行きたいと思っております。



日本のエネルギー事業を東北電力東新潟発電所で説明を受けました



みんなで歩きたい

白瀬 美智男(田尻)

厚労省が病気の予防と改善のために、一日に一万歩を目標に歩くことを提唱した。また、僧侶であり作家の玄侑宗久氏が「歩くことは筋力のみならず内臓も鍛え、さらには総合的な判断力を司る前頭前野も刺激し、老化防止、子供にとっても、基本的な体力と骨格を作る重要な運動といえる。お釈迦様も『歩行瞑想』と云って瞑想の手段としての歩くことを重視した。」と書

いている。このように、歩きながら、作家・作句を楽しんだり、思考を深めたり、街中の史跡を訪ねたり、人と触れ合ったりすることを考えると、歩きには実にさまざまな効能が期待できる。老若男女を問わず、歩きを楽しむ人口の多い町では、行政の医療負担が軽減されたとか、家族や地域の結いの復活がみられ、事件・事故が減少したと聞く。

また、有酸素運動であるウ

オーキング(歩き)をしている人は、健康で長生きができる、寝たきりになる確率が少なくして余命を全うできる確率が高いという医学的統計も報告されている。

自分の心身の健康は、自らの手でつかみ取ることが一番である。歩きの第一歩、まずは家から出てみることはじめてみてはいかがでしょう。

編集後記

さわやかな風が心地よい季節となりました。別れや出会いが交錯するこの季節は一年の中でも希望を抱き一番充実している時期でもあらうと思います。予算議会も決定し、新年度もスタートしました。

我々編集特別委員会も一年が過ぎたところです。これからもよりよい議会だより発行に委員一同努めてまいりますのでご期待ください。

(記・横山精一)

- 議長 山本 幸男
委員長 佐々木恵寿
副委員長 佐藤 一男
委員 佐藤 文子/委員 小黒 敬三
委員 田尻 良作/委員 横山 精一



議会活動の近況

2月

- 3日 高速道陳情(国土交通省・東日本道路株式会社)
- 7日 議会報編集特別委員会
- 8日 国道114号拡幅促進特別委員会
- 9日 文教厚生常任委員会
- 10日 広域圏保健衛生常任委員会
- 13日 国道114号拡幅事業要望活動
- 14日 文教厚生常任委員会
- 16日 議会運営委員会
- 17日 広域圏総務常任委員会
広域圏消防厚生常任委員会
- 20日 全員協議会

- 23日 広域圏議会運営委員会
- 27日 広域圏定例会

3月

- 7~20日 第1回定例議会
各常任委員会、議会報編集特別委員会、全員協議会

4月

- 14日 議会報編集特別委員会
- 17日 総務常任委員会
- 19日 議会報編集特別委員会
- 25日 双葉地方町村議会議長会

みなさまの声をお聞かせ下さい。

編集委員会では、議会に対する町民の声を議会だよりに掲載したいと考えております。議会傍聴時の感想等なんでも結構ですのでお声をお寄せ下さい。